

2021 年 6 月 1 日
フューチャー株式会社
(東証一部:証券コード 4722)

フューチャー、ガス業界初のデジタルツインシステム「ニチガスツイン on DL」の取組を 日本最大級の IoT カンファレンス「SORACOM Discovery 2021」にて紹介

フューチャー株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役会長兼社長 グループ CEO 金丸恭文、以下フューチャー)は、2021 年 6 月 22 日～24 日に開催される株式会社ソラコム(本社:東京都世田谷区、代表取締役社長 玉川憲、以下ソラコム)主催の日本最大級 IoT カンファレンス「SORACOM Discovery 2021」(<https://www.discovery.soracom.jp>)の『IoT 最新事例』にて、日本瓦斯株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長執行役員:和田眞治、以下ニチガス)と推進するガス業界初のデジタルツインシステム「ニチガスツイン on DL」の取組を紹介します。

フューチャーは、ニチガスが 2021 年 3 月に運用を開始したガス業界初のデジタルツインシステム「ニチガスツイン on DL」において、ビッグデータを活用するためのデータプラットフォーム MDDM(Meter Device and Data Management)を開発しました。ニチガスとソラコムが共同開発した IoT 検針デバイス「スペース蛍」約 85 万台(取付ベース)から得られる 1 時間単位の使用状況データをはじめ IoT データ収集基盤から得られるビッグデータを業務へと連携することで、無人検針が集金につながる仕組みやガス栓の遠隔自動開閉、ガスの微小漏洩の検知などを可能にし、CPS(Cyber-Physical System)の実現に寄与しました。また「スペース蛍」からの消費データに加え、2021 年 3 月に竣工した世界最大規模の LP ガスハブ充填基地「夢の絆・川崎」からの製造データを得ることで、現場のあらゆるデジタルデータからガスの充填・配送・検針・保安といった全ての業務フローを仮想のデジタル空間で再現するデジタルツインシステムを実現します。

MDDMの開発にあたっては、サーバーレスアーキテクチャで WebAPI、データストア、制御システムを構築し、ビッグデータを高速に処理するための基盤も自社開発しました。また、デバイスの仕様による bit 信号やプロトコルの違いを吸収してリアルタイムにデータ連携できる仕組みを実現し、現在、プラットフォーム「スペース蛍クラウド」として、ニチガスのみならず同社のグループ企業 3 社にも展開しています。

本実績からフューチャーはこの度、IoT システムの構築における知見の蓄積と協業を目的にソラコムが運営する国内最大の IoT パートナーエコシステム「SORACOM パートナースペース、以下 SPS」において、700 社(2021 年 4 月末現在)を超えるパートナー企業のなかから 15 社目となる「認定済インテグレーションパートナー」に認定されました。

フューチャーは今後もテクノロジーをベースに、お客様の IT 戦略パートナーとして DX(Digital Transformation)を推進し、お客様の未来に新たな価値を創造します。また、お客様とともに多様化する社会課題に向き合い、パートナーシップによる目標達成を目指し、SDGs の実現に貢献してまいります。

■本件に関するお客様からのお問合せ先

フューチャー株式会社 テクノロジー イノベーション グループ 担当:富山、柴田
E-mail : tig-contact@future.co.jp

■本件に関する報道機関からのお問合せ先

フューチャー株式会社 広報担当:石井、高橋、小船
TEL : 03-5740-5723 E-mail : f_pressroom@future.co.jp